Halo! JAKARTA Manga-Kyoushitsu 2010.08.10 in NAGANO

こども記者のリポート

Halo! ハロー ジャカルタ まんが教室

茶花ぽこさん画

インドネシアの首都、ジャカルタに住むまんが家・茶花ぽこさん＝長野市出身＝を先生に信毎長野本社で開いた「ハロー！ ジャカルタ・まんが教室」。先月号でその様子を特集しましたが、今月号は、参加したこども記者が書いてくれた記事を紹介します。茶花ぽこさんから、ジャカルタのまんがスクールのこどもたちの写真も届いたよ！

8月22日付 信毎こども新聞 でもこども記者がまんが教室をリポートしているよ！

茶花ぽこさんのまんがスクールのホームページ。インドネシアのこどもたちの様子も見られるよ！

http://www.sabeso.com/manga/

井上怜記者リポート

一番大切なことは「まんがは絵で伝える」

私は、将来まんが家を目指しています。茶花ぽこさんの教室で、まんが家になるために大切なことがわかりました。それを紹介します。

色をぬる時は、うすい色から重ねていって、計3色の色をぬるらしいです。あと、ぬっていて注意することは、“立体的”にすることです。影をつけてみると、本物みたいになるからです。

もし、昼間と夕方の絵を描きたいなら、昼間は活動をしている時間だから、動いているように描く。夕方は、静かな感じで描きます。

あと、服装を描く時は、描いた子の性格に合う服を考えます。例えば、元気でかっぱつな子なら、オレンジや黄色を使った服を描いたりします。

一番大切なことは、「まんがは絵で伝える」ということです。つまり、ふきだしを付けないでも、どんな気持ちなのかがわかるように描くのです。

ほかに大切なことは、まんがをたくさん読むこと、いろんな経験をすること、たくさん練習すること、その三つです。

私も、この大切なこと忘れずにいっぱい練習をして、将来まんが家になってみたいです。

和田はるひ記者リポート

ドアのないバス 大渋滞のジャカルタ

みなさんはインドネシアという国を知っていますか？ インドネシアは、大雨が降るとすぐしずみそうな小さな島まで入れて、1万7千以上の島々からなる世界最大の「島しょ国」です。そして、国の中でも時差があります。

茶花ぽこさんが暮らすジャカルタというところとバリ島では、1時間の時差があるそうです。

食べ物は、ショッピングモールなどで買います。ほかに、外の屋台やお店などがあります。パダン料理はとても辛いそうです。そして、インドネシアの人は油料理が好きで、揚げ物も2、3個を20～30円で売っています。

交通は、「暑い」という理由で多くの人が車に乗っています。そのため、大渋滞になることが多いそうです。

タクシーは「バジャイ」といいます。とても楽しいけれど、排気ガスが多く出るそうです。バスはとても古く、ドアがありません。でも、誰も落ちないそうです。

屋台でいろんなフルーツも売っているよ！

8月22日付 信毎こども新聞 をながめるジャカルタのまんがスクールのこどもたち。みんなの記事、読めるかな？

インドネシアは インドネシア語なーの

信毎の新聞語 第7版

【一報】いっぽう

事件、事故が起きた時、そのことを編集局（デスクなど）に知らせてくる最初の連絡。一報をもとに体制などを考えて取材に入る。記者のほか、警察署や消防署、読者などから連絡があることも。記者は発生を知ったら、まず一報を入れることが重要。

みんなのまわりではなにが流行ってる？ 初めてのチャレンジ、待ってるよ！

こども記者の記事、いつでも大募集！

「信毎こども新聞」にのせる記事を募集しています。記事の文字数は400字くらい。記事に合う写真も付けて、住所、名前、学年、電話番号を書いて、信毎こども記者クラブへ郵便かファクス、メール（e-chiiki@shinmai.co.jp）で送ってください。記事のしめ切りはありません。いつでも受け付けています。

取材や記事のことはよくわからないけど、とりあえずチャレンジしてみたい！

という人もいつでも気軽に信毎こども記者クラブまで電話かお手紙、ファクスをくださいね。

10月から「読者セクター」という部署にうつります。あのがとうございました。これからも元気でがんばってください。（山崎文碧）